

経営比較分析表（平成28年度決算）

北海道虻田村 国保病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	1	-	ド	救
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
2,737	2,055	第1種該当	1.5:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 1…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪審判病院

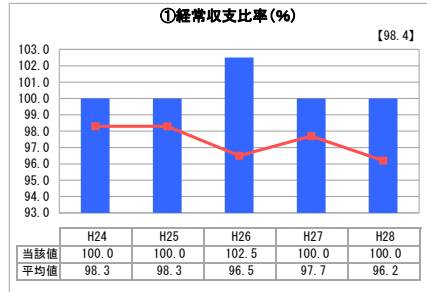
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
24	4	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	28
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
24	-	24

グラフ凡例

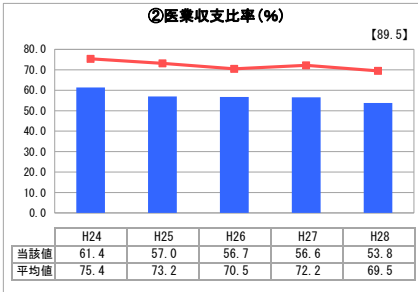
- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)

【】 平成28年度全国平均

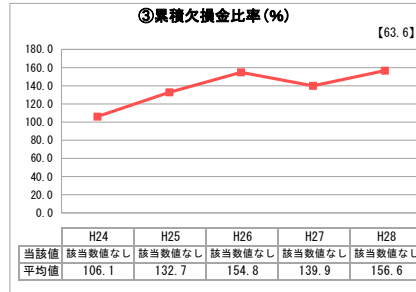
1. 経営の健全性・効率性



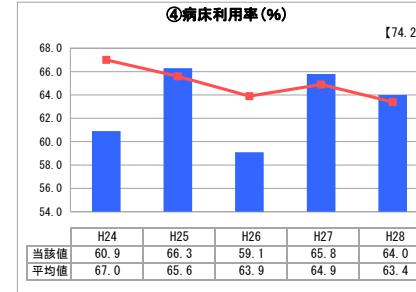
「経常損益」



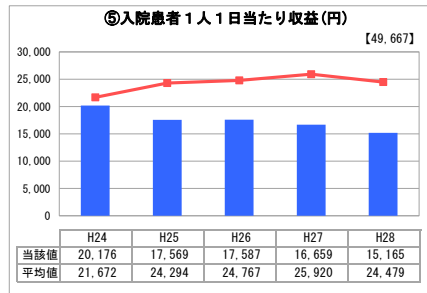
「医業損益」



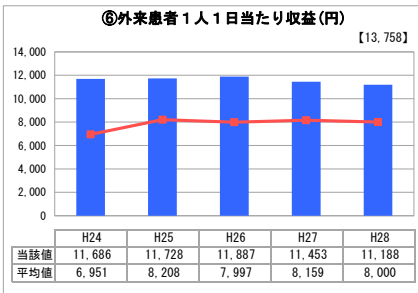
「累積欠損」



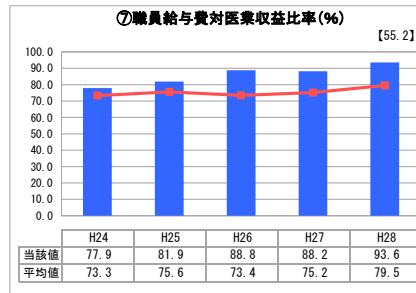
「施設の効率性」



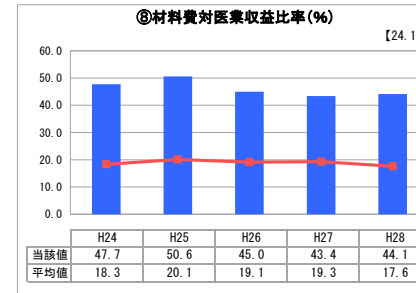
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

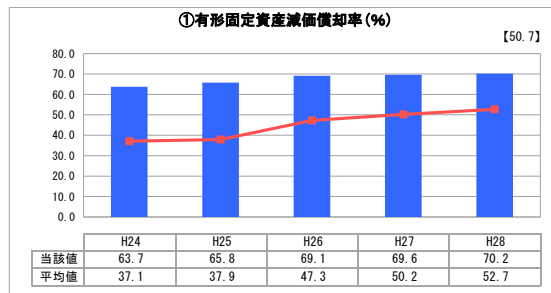


「費用の効率性①」

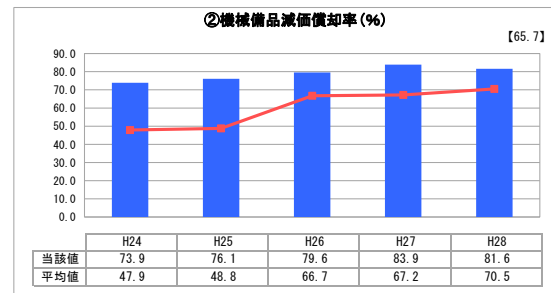


「費用の効率性②」

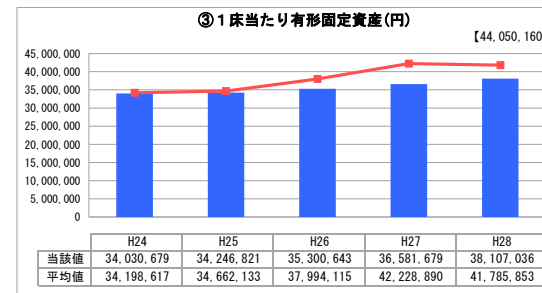
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

本村唯一の一次医療機関であり、住民の生活と健康を守る使命を担っている。住み慣れた地域で永く安心して生活できる環境づくりを進め、予防医療の推進や保健、福祉などの村内関係機関と連携を密にした「地域に密着した病院」として運営するためには、採算の是非を問わず対応することが必要となっている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

一般会計からの繰入により経営を維持しているところであるが、人口の減少もあいまって、患者も減少傾向にあり、医業収益を伸ばすことは困難な状況にある。また、中央から遠隔の地にある本村の現状では、医療技術者等の確保も容易ではなく、現在の運営形態、規模を維持していくためには人件費の削減もままならない現状にある。

2. 老朽化の状況について

施設や機械備品等の老朽化が進んでいるが、施設の建て替えなどは資金の面からも困難であり、予防修繕などの手法を用い、長寿命化を図っていく。また、機械備品等に関しては、医療の質の確保を勘案しながら計画的な更新に努める。

全体総括

経営面や施設面に記載のとおり当院を取り巻く環境は厳しさを増す一方であるが、「地域に密着した病院」として、その使命を果たしていくため、新病院改革プランを着実に実行するとともに、医療の質の向上を図ることで一般会計からの繰入を抑制し、経営の改善、継続に努めていく。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。